

M. S. 社会システム学科 3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

大学入学前から何かに挑戦することを目標としていたことと、留学について興味があったことから、協定留学について調べていました。それから志望するにあたって必要な資格や書類などの準備を始めました。そして一番興味を持っていた韓国への留学を目指しました。新しいことに挑戦することで今まで見えなかった新しい自分に出会えると思い、留学に挑戦しました。

② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

幼い頃から好きだった韓国ドラマをたくさん視聴することを主な勉強方法としました。大学入学後にはハングルの授業を履修し、TOPIKの対策も始めました。TOPIK3級以上所持が出願条件で、上級は作文問題も出題されるため、それを中心に勉強しました。毎日韓国語を聞いて耳を慣れさせることも大事な勉強方法の一つだと思いました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

決定後は、寮の申請やオンラインでの説明会、ビザの取得、携帯電話の手続きなどを行いました。今年度は前年度よりも入寮日が遅れ、連絡もなかなか来ず、ビザの申請や航空券の手配に影響があり少し大変でした。ビザの申請は自力で行いましたが、スムーズに問題なく出来ました。出国前に語学堂の申請や履修登録も行いました。申請方法などは全てオンライン説明会で説明されます。ただし、説明会は韓国語、英語、中国語の3カ国語のみで、現地に着いてからも留学生向けの説明はこれらの言語のみで行われました。現地調達以外の物の買い出しなども準備期間に行いました。

④ 現地到着後

現地に到着後は、空港から誠信女子大学の最寄り駅まで地下鉄で移動しましたが、荷物が多いのでタクシーに乗ればよかったと後悔しました。寮に到着してからは、寮で使用する布団やトイレトペーパーなど、急ぎのものを買いに行きました。翌日、寮費を支払いに銀行へ行き、その後に両替や健康診断を受けに病院へも行きました。病院は学校から指定されたところへ行きました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

自習室や図書室など、勉強する環境がとても充実しています。学校の図書館アプリから予約をする
とミーティングルームの予約ができ、大人数での学習にも最適です。図書館は24時間開いており、仮眠室もあるため、試験期間は図書館で勉強をする人も多かった印象です。

◆ 授業内容、課題、試験

私は語学堂の4級を受講しました。渡韓前のオリエンテーションではグレード分けテストがあると聞

きましたが、実際にはテストは実施されず、自分で申請した4級を受講することになりました。内容は教科書を用いて進められ、あまり難しくありませんでした。小テスト、中間考査、期末考査がありました。授業をしっかり受けていれば難しくありません。中間考査と期末考査は、質疑応答のテストもありますが、授業をしっかり聞いていれば問題ありませんでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学には食堂やカフェ、コンビニ、パンやハンバーガー屋などもあります。図書館や自習室も充実しています。大学周辺もお店が多く、カフェも多いので自習の際に利用しました。

◆ 履修科目

私は帰国後の単位認定も考慮して정치외교학과(政治外交学科)に入りました。留学生向けの授業は一つも履修せずに学科の授業のみを履修しました。

・ Identity Politics (정체성의 정치)

アイデンティティをベースに国内・国際政治について考える授業です。更に、国際政治における国家アイデンティティの意味と役割を民族、人権、文明の観点から考察し、韓国のアイデンティティの変化を周辺国との関係から考えました。中間・期末考査、レポートの提出、授業内での発表が必須でした。

・ Japanese Politics (일본정치론)

日本の政治を学ぶ授業です。日韓関係について深く考えました。日本と韓国では政治体制が異なるため、日本の政治の仕組みを学んだ上で、歴史において良かった点や問題であった点、現在の日本政治についても考えました。中間課題、期末考査、レポートの提出を行いました。

・ Introduction to Political Science (정치학개론)

概論ということもあり、政治学と呼ばれるものの全般を一から学びました。基本的な政治学の概念を理解、また韓国社会で起きている政治現象に対する現実的な問題を理解しました。政治とは何か、国家にもたらす影響とは何かについて考えました。毎授業討論があり、中間・期末考査はオンライン上での論述でした。

・ Korean Political History (한국정치사)

近代国民国家ができるまでの韓国の歴史に触れ、現代まで韓国が歩んできた政治の歴史を学びました。学んでいくにつれ、当時の問題についてより深く考察しました。毎授業初めに時事問題についての討論があり、中間・期末考査がありました。

・ Science, Technology and Politics (과학기술과 정치)

現代社会において科学技術が進む中で、科学技術と政治との関係について学びました。人工知能と社会的・経済的・倫理的・政治的な論点を分析しました。ディスカッションも多く、期末考査、論文の提出もありました。

・ Political Process and System (정치과정과 제도)

政治システムについて、毎週決まったお題に関してチームごとに1時間ほどのプレゼンテーションを行い、質疑応答をし、その後にその中で出された討論のお題について全体でディスカッションし、先生からのフィードバック、説明があり、時事問題についての討論を行うという流れでした。期末考査がありました。

・ International Organizations (국제기구론)

国際機関の現状、主要国際機関の設立と維持の背景、役割と継続、国際政治的意味、今後の課題について考えました。主に NATO や WTO、IMF について学びました。さらに新たにできた NGO やグローバルガバナンスについても学びました。中間・期末考査、学期末に提出するレポートに加えて、中間期にそのレポートで何を論ずるかの報告書も提出しました。

・ International Relations in Southeast Asia (동남아국제관계론)

東南アジアの国の政治的な歴史を学びました。東南アジアと EU、ロシア、アメリカ、日本、中国、韓国との関係について学び、私たちに重要な東南アジアを理解するために地理的な環境から歴史的背景などを振り返った上で国際関係を考えていきました。中間・期末考査、レポートの提出がありました。

◆ 授業、レポート、定期試験

授業によって異なるため、上記にて授業毎に回答しました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

特に行いませんでした。

⑧ 現地での住まい

寮で生活しました。寮は大学から徒歩10分ほどです。4号線、6号線のどちらも駅まで徒歩で行けるので便利でした。6号線を使うことが多かったです。洗濯機、冷蔵庫、バストイレは各部屋にあり、電子レンジ、ウォーターサーバーは各階に1つずつあり、共同で使っていました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

長期休暇は、国内旅行をしたり、友達と遊びに出かけたりしました。日本にも一時帰国しました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

卒業後の就職を考えていなかったため特に何も行っていません。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

毎日が本当に楽しかったです。国内旅行もよい思い出ですし、学科のプログラムで釜山と高城郡に研修に2回ほど行ったのですが、国会議員の方のみが利用可能な施設に泊まり、研修を行ったことも貴重な経験でした。授業の後に友達とご飯を食べに行ったり、カフェに行っ

たり、友達の家でパーティーをしたり、毎日が楽しかったです。休日はソウル市内や郊外に遠出したりしました。帰国後の現在も大学で知り合った友達たちと頻りに連絡を取っています。今年は日本に遊びに来てくれるということで、長く付き合える交友関係が築けたことはとても嬉しいです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

私は特に思い付きません。慣れない環境で最初は大変だった気もしますが、友達が色々教えてくれたので感謝しています。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

近い国でありながらも全く違う文化に驚きましたし、興味も持ちました。その中でも私が一番感心したのは、個々の意志の強さとそれをしっかりと周りに伝える姿勢です。初めは授業中に手を挙げて発言することに抵抗がありましたが、徐々に自分も参加できるようになりました。授業単位だけでなく、友達間でも自分の気持ちを正直に伝える人が多いので良いなと感じました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、施設の充実さと、アクセスの良さです。学祭も充実しており、アーティストのライブステージを観覧できたり、屋台や花火まで見ることができて楽しかったです。悪かった点は、特にありませんが門から校舎までが急な坂なので少し大変でした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

日本食、薬、レンジで炊ける炊飯器です。インスタントの味噌汁が便利でした。薬は急な体調不良など、現地で調達するよりも知っている薬があった方が安心でした。炊飯器は、寮に電子レンジはあったのでそれを利用してお米を炊いていました。パソコンも持参しました。授業資料はPDFで配布されるので、iPadがメモを取るのにとっても便利でした。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

友達との会話では生きた韓国語を学ぶことができ、授業では専門的な単語も自然とたくさん覚えめました。話すスピードも、聞き取り能力も大幅に向上したことを実感しています。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学することに迷っていたら是非挑戦してみたいです。苦勞も多いかもしれませんが、それを乗り越えることで自分を成長させることができ、単純に語学力の向上だけではなく、多くのことを学び、体験できる機会になります。出会いもたくさんあり、毎日が楽しいです。私は留学をして本当に良かったと思っています。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来的には韓国に携わった仕事を考えています。また、卒業後に韓国の大学への編入も検討しています。

V. 写真



夏休みに友達と済州島に行った時の写真です。
金浦空港から国内線で1時間ほどで行くことができます。海が綺麗で、観光地なので見所も多く、楽しかったです。良い思い出作りになりました。



大田にも遊びに行きました。
初めて韓国の KTX という新幹線のような高速鉄道に乗りました。
写真は大田の有名なパン屋さんです。



大学の学祭での写真です。

右の写真はアーティストライブのステージです。2日間違うラインナップで、学祭で一番盛り上がるイベントです。

2日目の最後には、左の写真のように花火を見ることができます。

10分ほど続き、規模の大きさに驚きました。



学科の研修で高城郡と釜山に行った時の写真です。どちらも貴重な体験でした。

→高城郡と釜山の何なのかが分からないので、詳細の追記をお願いします。）